

四季の雑草 ―春(2020年3月)秋田県―

＜本観察に関連する学校での学習＞

- ・小学校1年・2年(生活)の単元「季節の変化と生活」、
小学校3年(理科)の単元「身の回りの生物と環境との関わり」で、
多くの種類の雑草が、観察やあそびの対象として、写真や絵で示されている。
- ・中学校(理科)の単元「生物の観察」で、
多くの種類の雑草が、観察の対象として、写真や絵で示されている。

＜本実験の特徴＞

- ・雑草の名前と形・色の特徴を、季節毎の写真で知ることができる。



本日(2020年3月31日)は、
秋田県立大学生物資源科学部附属
フィールド教育研究センターの畑と
その畦畔(けいはん)に生える雑草を
見る。

- ・イネの育苗に使う農業用ハウスの
準備が始まっている。



- ・本日は、写真の矢印に沿って歩き、
そこに生えている雑草を観察する。



オオイヌノフグリ(オオバコ科)

早春に、青色の花を咲かせる



ヒメオドリコソウ(シソ科)

葉は、網目状の脈を持ち紫色をおびる。
茎は四角形。

オオイヌノフグリとヒメオドリコソウの動画(20秒)

<https://youtu.be/cPF3OSRtSI4>



ホトケノザ(シソ科)

半円形の葉の葉腋(ようえき)に紅色の花をつける。写真は、開花前の蕾(つぼみ)の状態。

茎は四角形で紫色をおびる。





コハコベ(ナデシコ科)

地面を覆うように生え、茎は柔らかい。
花卉(かべん)は白色。



スズメノカタビラ(イネ科)

葉は線形でなめらか。
右上の写真では、穂(矢印)が見られる。



スギナ(トクサ科)

シダ植物。

写真は、スギナの胞子茎で、「ツクシ
(土筆)」と呼ばれる。



本日見た雑草(下表の黄色ハイライト)

表 小学校(小1・2「生活」、小3～6「理科」、中学校「理科」および高校「生物基礎」・「生物」の観察・実験に用いられる雑草の使用回数*(合計4回以上).

種名	校種			合計
	小	中	高	
タンポポ	10	7	0	17
カラスノエンドウ	9	3	4	16
シロツメクサ	8	4	4	16
ナズナ	10	4	2	16
オオカナダモ	1	8	7	16
オオイヌノフグリ	8	4	0	12
ツユクサ	4	7	0	11
オオバコ	7	4	0	11
ハルジオン	6	3	0	9
スギナ	4	5	0	9
カタバミ	4	4	0	8
ホトケノザ	7	1	0	8
ハコベ	3	4	0	7
ヒメオドリコソウ	4	3	0	7
ゼニゴケ	0	7	0	7
ヒメジョオン	4	2	0	6
エノコログサ	5	0	0	5
オナモミ	5	0	0	5
ススキ	4	1	0	5
スズメノカタビラ	0	5	0	5
スズメノテッポウ	2	3	0	5
ハハコグサ	1	3	0	4
セイヨウタンポポ	2	2	0	4
ウキクサ	1	0	3	4
アオミドロ	4	0	0	4

*数値は、いずれの校種においても、4種類の教科書での使用回数の合計値.